



中村病院糖尿病内科通信 (第 22 号)



糖尿病内科担当医・診療表

午前診 9:00~12:00
夜診 17:30~19:30

	月	火	水	木	金	土
午前診	高橋	※	高橋	高橋		高橋
夜診	濱崎/高橋		高橋			

月曜日夜診

第 1,3,5 週：濱崎，第 2,4 週：高橋 (都合により変更することがあります)

土曜日午前診

第 2,4 週のみ：高橋 (都合により変更することがあります)

※ 特定保健指導外来 (要予約)：特定健診で保険指導を指示された方が対象

中村病院が新しくなりました

当院は平成 24 年 12 月に新築移転し、旧中村記念病院と統合し 206 床の新たな病院となりました。入院病室が広くなり、新たに MRI を設置しました。MRI により脳や脊椎・脊髄の診断能力が向上するだけでなく、CT であれば造影剤を使用しないと評価が難しかった膵臓や血管の評価が容易になります。糖尿病が悪化する時に膵臓の病気が隠れていたり、血圧が高い時に腎臓の血管が狭くなっていたりすることがありますが、これらの診断に MRI が有用です。新たな設備を活用して、よりよい診療ができるよう努力して参ります。

糖尿病コラム

インクレチン関連薬は低血糖を来たさない糖尿病治療薬として使用頻度が増えています。そのうち DPP-4 阻害薬(内服薬)は体内の GIP と GLP-1 という物質の効果を強めることで血糖を下げます。GIP には体重を増やす作用があるなど一部よくない働きがありますが、GLP-1 には血糖低下作用だけでなく、体重減少や食欲抑制など糖尿病に対する効果としては非常によい作用があるとされています。GLP-1 だけを増やすことができればよいのですが、内服薬では GLP-1 だけを増やすことはできません。このため、GLP-1 を投与する GLP-1 受容体作動薬が開発されました。1 日 1~2 回の注射薬ですので気軽に選択できる治療ではありませんが、低血糖を来たすことがなく、糖尿病の進行を遅らせる可能性も期待されていることから、初期の段階から治療に使用できると言われています。実際には注射という手技習得が必要になるため、インスリン治療の前段階として導入されることが多いですが、理論的には優れた点が多く、今後の糖尿病治療に幅広く使用されると思われます。

糖尿病教室のご案内

当院は日本糖尿病学会認定教育施設としての糖尿病教育活動の一環として、毎月の最終月曜日午後 3 時より当院 2 階 2B 病棟食堂デイルームにて糖尿病教室を実施しております。当院以外の診療所等で通院中の方でも自由に参加できます。無料ですので、是非ご参加下さい。

平成 25 年 1 月 28 日(月) インクレチン関連薬 2 月 25 日(月) 急性合併症
3 月 25 日(月) 運動療法 4 月 22 日(月) 糖尿病の分類